

ちのがんばりもしっかり認めていけるようにしたい。また、チームの中で、「できない、分からない」が、自然に言い合える仲間を作っていきたい。そのために、チームワークを高めるための具体的な声かけを事前に考えさせ、掲示しておくことによって、友だち同士による認め合いや教え合い、励まし合いが増えていくことを期待する。

3 単元の目標

- ゲームに進んで取り組み、規則を守って仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができる。【関心・意欲・態度】
- 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができる。【思考・判断】
- ボールを手で打って攻撃したり、捕る、投げるなどにより守備をしたりして、攻守を交代するゲームをすることができる。【技能】

4 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
評価規	ゲームに進んで取り組み、規則を守って仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたりしている。また、場や用具の安全に気をつけたりしている。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりしている。	ボールを手で打って攻撃したり、捕る、投げるなどにより守備をしたりして、攻守を交代するゲームをすることができる。
学習における具体的評価規	① ボールが落ちていないかを確認するなど、安全を確かめながら活動しようとしている。 ② 用具の準備や片づけを友だちと一緒にに行おうとしている。 ③ 友だちを励ましたりこつを伝えたりして、教え合いながら取り組もうとしている。 ④ 試合前後にあいさつをしたり、規則を守ったりして、勝敗の結果を素直に受け入れようとしている。	① ベースボール型ゲームの行い方を知り、楽しくゲームを行っている。 ② ゲームにより楽しく行えるためのプレー上の制限や得点の仕方、練習をするときの規則などを選んでいく。 ③ 各ゲームの特徴に合った攻め方や守り方を知り、簡単な作戦を立てている。	① ベースに向かってかけ抜ける走塁ができる。 ② 投げたい方向に向かって、投げる手と反対の足を一歩踏み出して投げるができる。 ③ ボールの正面に移動することができる。 ④ フェアグラウンド内に打つことができる。

5 単元計画・評価計画

	1	2	3	4	⑤本時	6	7	8	9
ねらい	ねらい1 学習のねらいと進め方、基本的な技能のポイントを知る。	ねらい2 ○ボール操作に慣れ、ハンドベースボールを楽しむために必要な技能を楽しく身につける。 ○ゲームをスムーズに楽しく進めていくための態度を身につける。					ねらい3 身につけた技能を使って、チームで簡単な作戦を立てたり協力したりしながら、ゲームを楽しむ。		
学習活動	あいさつ 準備体操 めあての確認								
	オリエンテーション	かべ投げ ねらってゲット		連続キャッチボール ならべてゲット			三角ゲーム	チーム対抗 ハンドベースボール大会	
		話し合い 練習							
	キャッチボール タイミングゲーム	かけぬけゲーム		どか点ゲーム		三角ゲーム			
	後片づけ ふり回り								
評価計画	態度① (観察)	技能① 態度② (観察・ワークシート)	思考① (観察)	技能② (観察・ワークシート)	技能④ 態度③ (観察・ワークシート)	思考② (発言・ワークシート)	技能③ (観察・ワークシート)	態度④ (観察・発言)	思考③ (観察・ワークシート)

6 本時の展開（5時間目／9時間中）

(1) 本時目標

- ◎チームで声を掛け合いながらゲームを楽しむことができる。(関心・意欲・態度)
 - チームとして、攻め方についての簡単な作戦を考えることができる。(思考・判断)
 - ◎守りがいないところをねらって、フェアグラウンド内にボールを打つことができる。(技能)
- (2) 準備 ボール、コーン、ビブス、掲示資料、得点板、ストップウォッチ、作戦会議シート